

変更後 (赤字)
変更前 (黒字)

県営仲之入地区

農用地保全施設整備 (防災重点農業用ため池緊急整備「一般整備型」) 事業
農用地保全施設整備(ため池等整備「一般型」) 事業

変 更 事 業 計 画 書

新 潟 県

目 次

第1章	目 的	-----	1	第6節	地域環境の概況	-----	14
				1.	自然環境	-----	14
第2章	地域及び地積	-----	2	2.	社会環境	-----	14
第1節	地 域	-----	2	3.	生産環境	-----	14
第2節	地 積	-----	2				
				第4章	一般計画	-----	15
第3章	現 況	-----	3	第1節	事業計画の要旨	-----	15
第1節	気象及び海象	-----	3	1.	要 旨	-----	15
1.	一般気象	-----	3	2.	事業別面積	-----	15
2.	特殊気象	-----	3	第2節	営農計画及び土地利用計画	-----	16
3.	海 象	-----	3	1.	営農計画の概要	-----	16
第2節	土地状況	-----	4	2.	土地利用区分	-----	16
1.	地形・土壌及び侵食の程度	-----	4	3.	作付方式	-----	16
2.	土地分類	-----	5	4.	生産計画	-----	16
3.	土地利用の状況	-----	5	5.	労働改善計画	-----	16
4.	土地所有の状況	-----	5	6.	級地別土地利用区分	-----	16
第3節	水利状況	-----	6	7.	土地配分計画	-----	16
1.	用水状況	-----	6	第3節	用水計画	-----	17
2.	排水状況	-----	9	1.	計画基準年	-----	17
3.	河川状況	-----	9	2.	計画かんがい方式	-----	17
第4節	道路現況	-----	10	3.	計画用水系統	-----	18
1.	道路概況	-----	10	4.	計画用水量	-----	19
2.	主要道路一覧表	-----	10	5.	水源計画	-----	19
第5節	地域農業の概況	-----	10	第4節	排水計画	-----	20
1.	産業別就業人口	-----	10	1.	計画基準雨量	-----	20
2.	経営耕地広狭別農家数及び 耕地の分散状況並びに専兼業別農家数	-----	11	2.	計画排水方式	-----	20
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	-----	11	3.	計画排水系統	-----	20
4.	主要作物作付状況	-----	12	4.	計画排水量	-----	20
5.	農業の動向	-----	13	5.	排水対策	-----	20
				6.	湛水検討	-----	20

第5節	道路計画	-----	21	第6節	干拓施設	-----	24
1.	道路及び索道	-----	21	第7節	農用地整備施設	-----	25
2.	路線配置図	-----	21	1.	区画整理	-----	25
第6節	農用地造成計画	-----	21	2.	暗渠排水	-----	25
第7節	洪水調節計画	-----	21	3.	客 土	-----	25
第8節	干拓計画	-----	21	4.	除 礫	-----	25
第9節	農用地整備計画	-----	22	5.	農地保全	-----	25
1.	区画整理	-----	22	第8節	老朽ため池改修施設（農地防災）	-----	25
2.	暗渠排水	-----	22	1.	貯 水 池	-----	25
3.	客 土	-----	22	2.	堤体補強施設	-----	25
4.	農地保全	-----	22	第6章	附帯工事計画	-----	26
第10節	老朽ため池改修計画	-----	22	第7章	工事の着手及び完了の予定時期	-----	26
1.	洪水吐改修計画	-----	22	第8章	環境との調和への配慮	-----	27
2.	堤体補強計画	-----	22	第1節	保全対象種の設定	-----	27
3.	取水施設改修計画	-----	22	第2節	整備する環境条件と実施するエリア	-----	27
第5章	主要工事計画	-----	23	第3節	配慮の計画内容	-----	27
第1節	用水施設	-----	23	第9章	換地計画の概要	-----	28
1.	貯 水 池	-----	23	第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	-----	28
2.	頭 首 工	-----	23	第2節	換地区の設定	-----	28
3.	揚 水 機	-----	23	第3節	換地計画樹立の基本方針	-----	28
4.	用 水 路	-----	23	第4節	土地の評価及び清算の方法	-----	28
5.	その他かんがい施設	-----	23	第10章	事業費の総額及び内訳	-----	29
第2節	排水施設	-----	23	第11章	効 用	-----	30
1.	排水水門	-----	23	第12章	関連する事業	-----	31
2.	排 水 機	-----	23	第13章	現況・計画図面	-----	31
3.	排 水 路	-----	23				
4.	その他排水施設	-----	23				
第3節	道路及び索道	-----	24				
1.	道 路	-----	24				
2.	索 道	-----	24				
第4節	農用地造成	-----	24				
第5節	洪水調節施設	-----	24				

変更後 (赤字)

変更前 (黒字)

第1章 目的

(1) 必要性

佐渡市中興地内に位置する仲之入ため池は、同市中興、千種、新保及び泉の農地69.7haを受益とする農業用ため池である。

本ため池は、明治30年頃に築造され、昭和44～45年及び平成8～10年度に県営ため池等整備事業により、堤体補強工事、取水施設、洪水吐の改修が行われおり、20年以上が経過している。現在、堤体及び底樋から基準を上回る漏水が確認され、用水量の安定確保ができない状況である。

また、平成25年度に実施したため池耐震点検調査及び令和7年度に行った追加調査の結果、地震時で堤体上・下流側ともに基準となる安全率 ($F_s=1.20$) を下回り、耐震性を有していないことが判明したことから、耐震補強工事が必要である。

(2) 緊急性

漏水及び大規模地震が要因でため池が決壊した場合、下流域の農地・農業用施設及び人家・公共施設に被害を与えることが想定されることから、早急に整備が必要である。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
農用地保全施設整備	新潟県佐渡市中興

第2節 地積

(平成29年1月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	市町村名							
農用地保全施設整備	佐渡市	69.7	—	—	—	—	69.7	
	計	69.7	—	—	—	—	69.7	
合計		69.7	—	—	—	—	69.7	

第3章 現況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3-1表)

観測所名	相川気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	1953年～2012年	4月～8月	9月～3月		
平均気温 (°C)		19.1	10.2	14.7	相川気象観測所
降水量	平均 (mm)	693	1,070	1,763	
	基準年 (mm)	532	793	1,325	1986年
降水日数	平均 (mm)	32	70	102	
	基準年 (日)	35	55	90	1986年
根雪期間		1月20日 ～ 2月13日		25日間	1982年 ～ 2003年
無霜期間		4月7日 ～ 12月18日		255日間	1971年 ～ 2000年 相川気象観測所
最多風向		北西	最大風速 (風向)	40.0m/s (北西)	最多風向発生時期 11月～2月 最大風速発生年月日 2010/1/13

2. 特殊気象

(第3-2表)

相川気象観測所	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
観測期間	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
1953年～2012年																
最大日雨量 (mm)	240	2002 7/15	—	200	2004 8/18	—	184	1978 6/26	—	134	1961 8/4	—	131	2012 7/15	—	
最大連続雨量 (mm)	344	1963	—	331	1978	—	311	2002	—	250	1964	—	246	1953	—	
最大連続干天日数 (日)	60	1953	—	47	1994	—	44	1955	—	44	1985	—	41	2000	—	

3. 海象

該当なし

第2節 土地状況

1. 地形・土壌及び侵食の程度

(1) 地形

(第4-1表)

事業名	地目	田						畑 その他						受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1,000 未満	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 未満	3° ～ 8°	8°～15°			計	最高	最低	
										8° ～ 10°	10° ～ 15°	8° ～ 15°				
農用地 整備 施設	面積 (ha)	—		69.7	—	—	69.7	—	—	—	—	—	—	72	20	
	比率 (%)			100			100									

(2) 土壌

(第4-2表)

項目 土壌統(区)名	土壌統(区)区分一覧表										面積(ha)			備考
	土壌断面										事業名			
	色	腐食	礫層	酸化沈殿物	土性			泥灰層黒泥層 及びグライ層	堆積様式	母材	施設 整備	農用地 保全		
					表土		三層							
一層					二層									
D32 強グライ土壌 粘土還元型											69.7			
計											69.7			

(3) 侵食の程度

該当なし

2. 土地分類

該当なし

3. 土地利用の状況

(第4-3表)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地							山林 原野等 (ha)	採草 放牧地 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通 畑 (ha)	牧草 畑 (ha)	果樹 園 (ha)	桑園 (ha)	茶園 (ha)	樹園地 その他 (ha)					
農用地 保全 施設 整備	佐渡市	69.7	—	—	—	—	—	—	—	—	69.7		

4. 土地所有の状況

(平成25年8月現在) (第4-4表)

事業名	所有別 区分	個人有		計	備考
		農用地 保全 施設 整備	面積 (ha)	69.7	
	受益者数 (人)				
	筆数 (筆)				
	権利関係				
	備考 (関係戸数)	185		185	

第3節 水利状況

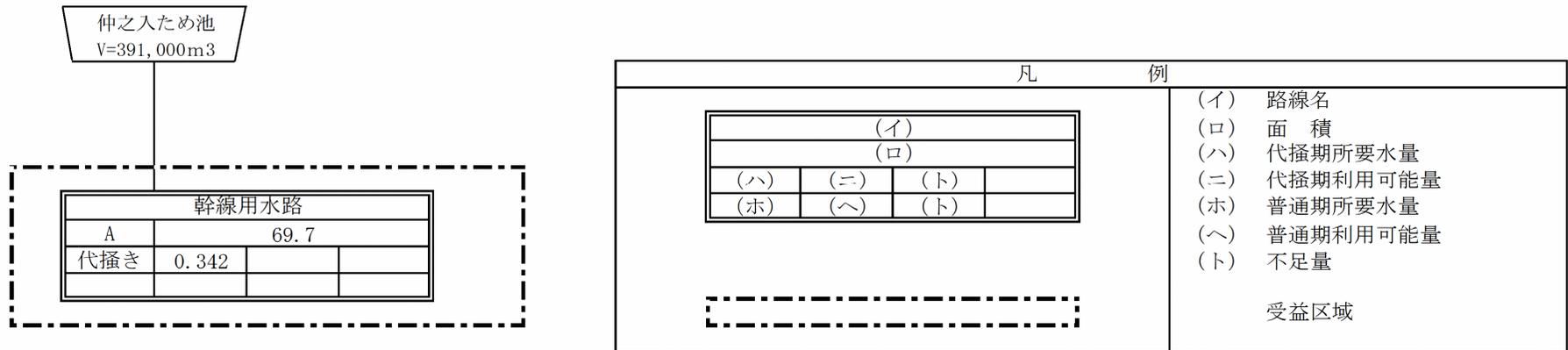
1. 用水状況

(1) 用水系統

本ため池は、明治30年頃に築造され、昭和44～45年度及び平成8～10年度に県営ため池等整備事業により、堤体の補強、取水施設、洪水吐の改修が行われており、かんがい受益面積は69.7haである。

また、ため池を用水源として開水路によりかんがいが行われ、幹線用水路としてBF-500、ほ場内支線用水路としてBF-300が設置されている。

現況（計画）用水系統図



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5-1表)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ 取水量	備考
		20ha以上		5~20ha		5ha未満		箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s	
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
農用地 保全施設 整備	貯水池	1	69.7					1	69.7					0.342	
	井 堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計	1	69.7					1	69.7					0.342	
	合計	1	69.7					1	69.7					0.342	

変更後 (赤字)

変更前 (黒字)

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5-2表)

事業名	項目		受益面積 (ha)	構造	規模 (m)	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名	施設名又は箇所数(箇所)						
農用地保全施設整備	貯水池	仲之入ため池	69.7	土堰堤均一型	堤高 14.4m 堤長 90.0m	平成8年～10年度	漏水、地震時に不安定	管理者 金井土地改良区
	井 堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用排水路							
	その他							
	計							
合 計			69.7					

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

該当なし

(イ) その他の被害状況

該当なし

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5-3表)

被害想定	被害面積 (ha)				被害額 (千円)						人命 (人)	備考
	水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計		
	99.4	—	—	99.4	4,482 4,610	489,179 415,804	36,292 30,847	1,076,290 920,618	5,869,208 3,916,347	7,475,451 5,288,226		

2. 排水状況

(1) 排水系統

該当なし

(2) 排水施設

該当なし

(3) 排水に関する被害状況

該当なし

3. 河川状況

(1) 河川の現況

該当なし

(2) 洪水に関する被害状況

該当なし

第4節 道路現況

1. 道路概況

該当なし

2. 主要道路一覧表

該当なし

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(27年 国勢調査) (第6-1表)

項目	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気 ガス熱 供給 水道業	情報 通信業	運輸業	卸売 小売業 飲食店	金融 保険業	不動産 業	サービス 業	公務	その他	備考
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
佐渡市	29,087	5,251	81	530	50	3,089	1,746	197	109	1,022	3,939	370	163	10,777	1,671	92	
計	29,087	5,251	81	530	50	3,089	1,746	197	109	1,022	3,939	370	163	10,777	1,671	92	
比率 (%)	100	18.1	0.3	1.8	0.2	10.6	6.0	0.7	0.4	3.5	13.5	1.3	0.6	37.0	5.7	0.3	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(2015年農林業センサス) (第6-2表)

区分 市町村名	農家総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)										1戸当たり平均農用地面積 (ha)					耕地の分散状況		専業別農家数 (戸)		備考		
		例外規定の適用を受けるもの	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20 ha 以上	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当たり 団地数	1戸当たり 面積 (ha)	専業		兼業	
			第1種	第2種																			
佐渡市	4,404	64	577	1,349	874	512	479	331	144	52	22	1.65	0.16	0.49	2.30	—	2.30	—	—	1,438	342	2,533	
計	4,404	64	577	1,349	874	512	479	331	144	52	22	1.65	0.16	0.49	2.30	—	2.30	—	—	1,438	342	2,533	
比率	100	1	13	31	20	12	11	8	3	1	—	72	7	21	100	—	100	—	—	33	8	59	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

※耕うん機：H17よりデータなし

(2015年農林業センサス) (第6-3表)

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜								備考
	耕うん機		トラクター		田植機		コンバイン		乳牛		役肉牛		豚		鶏		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	
佐渡市	データなし		4,097	3,497	3,463	3,223	3,385	3,120	342	16	X	65	—	—	23百	11	
計			4,097	3,497	3,463	3,223	3,385	3,120	342	16	X	65	—	—	23百	11	
100戸当たり(台・頭)			117		107		108		2,137		X		—		209百		
利用戸数割合(%)			100		100		100		—		—		—		—		

4. 主要作物作付状況

(2015年農林業センサス)

(第6-4表)

市町村名		佐渡市				計	平均	作付率 (%)	備考
総耕地面積 (ha)		10,400 ha				10,400 ha			
総耕地面積 (ha)		9,328 ha				9,328 ha			
作物名	区分	作付面積	単位面積 当たり収量	作付面積	単位面積 当たり収量	作付面積	単位面積 当たり収量		
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
田	表作	水稻	5,920	515			5,920	515	99
	裏作								
	小計		5,920				5,920		99
畑	春夏作	ばれいしょ	4	1,826			4	1,826	0
		なす	3	1,320			3	1,320	0
		えだまめ	51	120			51	120	1
	秋冬作	だいこん	7	3,699			7	3,699	0
	小計		65				65		1
果樹園									
	小計		-				-		0
計		5,985				5,985		100	
市町村別 延べ作付率 (%)		100				100			

5. 農業の動向

(2015年農林業センサス) (第6-5表)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域 指定等	備考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機 具名	B	A		
変化の 状況 (C年を 100とする 指数)	総農家数	84	68	総耕地	98	90	水稻	94	91	乳用牛	82	60	自動 耕うん機	-	-	農業振興地域 (指定) 旧金井町 S46. 2. 9 旧両津市 S46. 10. 4 離島振興法 S28. 10. 26 過疎地域 H16. 3. 1	A : 平成27年 (2015) B : 平成22年 (2010) C : 平成17年 (2005)
	専業農家数	111	89	田	98	93	イモ類	50	70	肉用牛	117	-	トラクター	87	77		
	第一種兼業 農家数	58	41	畑	102	60	豆類	63	50	豚	-	-	コンバイン	82	68		
	第二種兼業 農家数	79	65	樹園地	89	82	野菜類	88	104	鶏	39	21	田植え機	82	67		
	農業 従事者数	103	83														
変化の 理由	農業情勢の変化			農業情勢の変化			農業政策の変化 食生活の変化			食生活の変化			農業経営形態の変化 機械の大型化				

第6節 地域環境の概況

1. 自然環境

仲之入ため池は、佐渡市（旧金井町）の標高約87mの大佐渡山脈の裾野に位置し、ため池付近一帯は、落葉広葉高木林が主で、緑豊かな自然が多く残っている。

2. 社会環境

ため池とその周辺の自然環境（山腹水路、山地の自然林等）を維持・保全し、古くから育まれてきた仲之入地区の歴史・文化を継承しつつ、地区の持続的な農業の発展と田園環境の保全を目指している。

3. 生産環境

該当なし

第4章 一般計画

変更後 (赤字)

変更前 (黒字)

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

本ため池の堤体及び底樋からは、基準を上回る漏水が確認されている。また、耐震点検調査の結果、堤体上・下流側ともに耐震性を有していないことが判明した。

漏水及び大規模地震の要因によりため池が決壊した場合、下流の農地・農業用施設及び人家・公共施設に被害を与えることが想定されることから、堤体及び底樋の改修を行い、災害を未然に防止する。

2. 事業別面積

(第7表)

事業名 土地利用区分 事業目的	農用地保全施設整備						備考
	水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	
ため池整備	69.7	—	—	—	—	69.7	
計	69.7	—	—	—	—	69.7	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

- a) 営農方式 水稲転作複合
- b) 経営組織 農地の集団化を図り、大型機械の共同利用を進めるとともに土地利用権の集積に努め、農業経営の安定化を図る。
- c) 作業体系（水稲） 耕起 → 基肥 → 植付 → 防除 → 収穫調整

2. 土地利用区分

(第8表)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	その他の樹園地	小計	原野	山林	その他	合計	備考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農用地 施設整備 保全	現況	69.7					69.7				69.7	
	計画	69.7					69.7				69.7	
計	現況	69.7					69.7				69.7	
	計画	69.7					69.7				69.7	

3. 作付方式

該当なし

4. 生産計画

該当なし

5. 労働改善計画

該当なし

6. 級地別土地利用区分

該当なし

7. 土地配分計画

該当なし

第3節 用水計画

1. 計画基準年

該当なし

2. 計画かんがい方式

該当なし

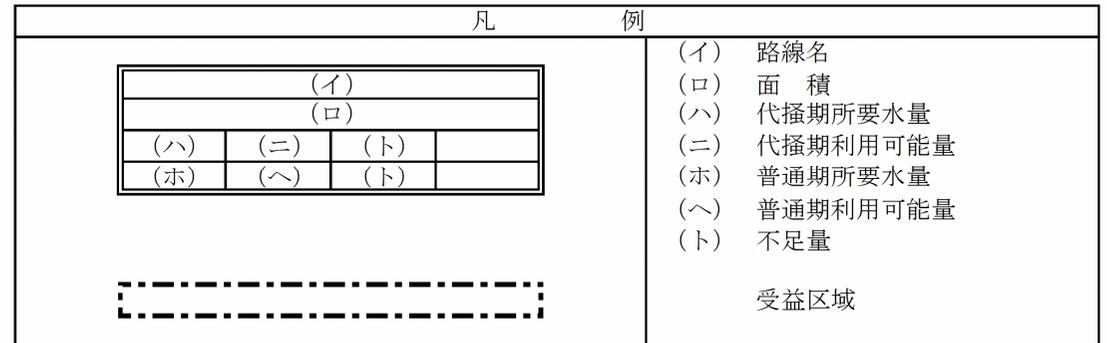
3. 計画用水系統

(1) 用水系統

(第9-1表)

項目 系統名	種別	面積 (ha)		水田かんがい		水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m ³ /s)	損失率 (%)	その他		備考			
		事業名		普通期	代かき期	面積	一日当たり計画 平均かん水深	平均間断日数	面積	一日当たり計画 平均かん水深	平均間断日数	面積	計画平均単位 用水量			面積	普通		代かき最大		
		農用地 施設整備	計	単 位 用 水 量	計 画 平 均 代 か き 量															(mm/日)	(mm)
				(mm/日)	(mm)	(ha)	(mm/日)	(日)	(ha)	(mm/日)	(日)	(ha)	(m ³ /s)			(%)	(m ³ /s/ha)		(m ³ /s/ha)		
仲之入地区	用水	69.7		69.7	12	100(8)	69.7								15		0.342				
計		69.7		69.7			69.7														

現況 (計画) 用水系統図



(2) 営農飲雑用水

該当なし

4. 計画用水量

該当なし

(1) 水利用計画

現状どおり

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第9-2表)

項目 貯水池名	流域面積 (km ²)		かんがい面積 (ha)		純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備考
	直接	間接	農用地保全 施設整備	計					
仲之入ため池	0.95		69.7	69.7	391	391		0.342	

(イ) 井堰及び自然取水

該当なし

(ウ) 揚水機

該当なし

5. 水源計画

(1) 概要

該当なし

(2) その他の水源施設

該当なし

(3) 水温水質

該当なし

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

該当なし

2. 計画排水方式

該当なし

3. 計画排水系統

該当なし

4. 計画排水量

該当なし

5. 排水対策

該当なし

6. 湛水検討

該当なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

該当なし

2. 路線配置図

該当なし

第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調節計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

変更後 (赤字)

変更前 (黒字)

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

該当なし

2. 暗渠排水

該当なし

3. 客土

該当なし

4. 農地保全

該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

仲之入ため池について、以下の項目について記述する。

1. 洪水吐改修計画

該当なし

2. 堤体補強計画

堤体の安全性を確保するために下流側に腹付け盛土を行う。

上流側は地盤改良（中層混合処理工法）を行い、堤体のすべり破壊面に固結体を造成する。

3. 取水施設改修計画

底樋は堤体を開削、維持管理面を考慮し、口径800mmのコンクリート全巻き構造に改修する。

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

該当なし

2. 頭首工

該当なし

3. 揚水機

該当なし

4. 用水路

該当なし

5. その他かんがい施設

該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門

該当なし

2. 排水機

該当なし

3. 排水路

該当なし

4. その他排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道路

該当なし

2. 索道

該当なし

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調節施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

該当なし

2. 暗渠排水

該当なし

3. 客土

該当なし

4. 除礫

該当なし

5. 農地保全

該当なし

第8節 老朽ため池改修施設（農地防災）

1. 貯水池

（第10表）

名称	仲之入ため池			位置	佐渡市中興			
堤体	型式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m ³)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備考
	土堰堤均一型	0.95	14.4	90.0	26.0	6.2	391.0	
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)		取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	
	コンクリート三面張 正面越流型	7.948	6.5m×1門			鋼管コンクリート巻立	0.342	

2. 堤体補強施設

(1) 法面保護施設

法面勾配 上流側 1:2.5 下流側 1:2.0

法面保護 コンクリート張りブロック

(2) 漏水防止工

防水シート、底樋改修

変更後 (赤字)

変更前 (黒字)

第6章 附帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着 手 平成31年度

完了予定 令和12年度
平成34年度

第8章 環境との調和への配慮

第1節 保全対象種の設定

クロヨシノボリ

佐渡市の農村環境計画では特に保護を必要とする絶滅危惧種の動植物は見あたらないため、生息が確認された種から保全対象を選定する。

本ため池には、クロヨシノボリが多く生息し、取水施設から幹線用水路を経由して、田んぼまで移動していることもある。

第2節 整備する環境条件と実施するエリア

本地区は佐渡市農村環境計画において大佐渡ゾーンに位置しており、農業農村整備事業を行う場合は、下記の環境へ配慮した整備の在り方が示されており、本地区の整備はこの考え方に基づいた計画とする。

- ・クロヨシノボリを工事施工中に保護するための施工計画を樹立する。

第3節 配慮の計画内容

ため池補強工事に伴い落水の際は特段の注意を払い、工事に支障とならない位置にクロヨシノボリ等の魚類が生息できる水溜まり（池）をつくり保護する。また、工事完了時まで地元により定期的な維持管理も併せて行うこととする。

捕獲した生物に外来種が混在している場合は、駆除する。

【生息が想定される駆除対象となる主な外来生物種】

ブラックバス、ブルーギル、ウシガエル、アメリカザリガニ

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方
該当なし

第2節 換地区の設定
該当なし

第3節 換地計画樹立の基本方針
該当なし

第4節 土地の評価及び清算の方法
該当なし

変更後 (赤字)

変更前 (黒字)

第10章 事業費の総額及び内訳

(第11表)

区分		事業名		備 考
		農用地保全施設整備 (千円)		
事業費		514,000	227,800	令和7年度単価 平成30年度単価
工事雑費		12,000	5,600	
小計		526,000	233,400	
事務費		24,000	11,600	
合計		550,000	245,000	
(関連事業 参考)				

変更後 (赤字)

変更前 (黒字)

第11章 効用

(第12表)

事業名	区分	事業名		備考		
		年総効果 (便益) 額	年総増加農業所得額			
農用地保全施設整備	作物生産効果	33,460 29,603	千円	—	千円	総費用 : 739,385 445,493 千円
	営農経費節減効果	△ 1,519 △ 1,585	千円	—	千円	総便益額 : 7,600,058 5,890,204 千円
	維持管理費節減効果	△ 318 △ 144	千円	—	千円	総費用総便益比 : $\frac{7,600,058}{5,890,204} = \frac{10.27}{13.22}$
	災害防止効果	331,910 257,536	千円	—	千円	総所得償還率 : $\frac{—}{57,595} \times 100 = —\%$ 15,234
	農業労働環境改善効果	—	千円	—	千円	
	水源かん養効果	—	千円	—	千円	
	景観・環境保全効果	—	千円	—	千円	
	国産農産物安定供給効果	1,845 3,740	千円	—	千円	
	計	365,378 289,150	千円	—	千円	令和 7年度単価 平成30年度単価

第12章 関連する事業

該当なし

第13章 現況・計画図面

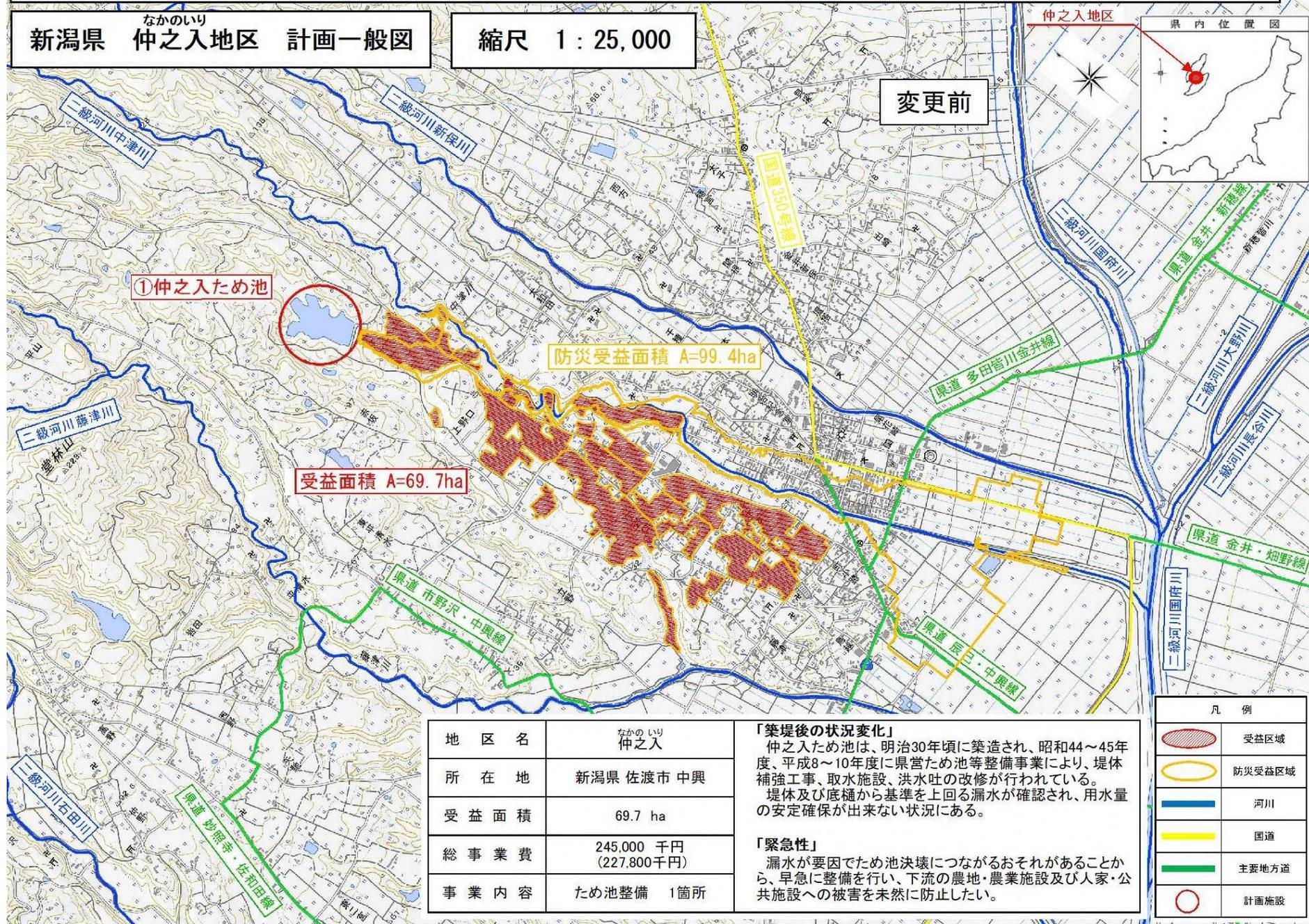
1. 計画一般図

別紙図面のとおり

平成31年度着工地区 農用地保全施設整備（ため池等整備「一般型」）事業

新潟県 中之入地区 計画一般図

縮尺 1 : 25,000



地区名	なかのいり 中之入
所在地	新潟県 佐渡市中興
受益面積	69.7 ha
総事業費	245,000 千円 (227,800千円)
事業内容	ため池整備 1箇所

「築堤後の状況変化」
 中之入ため池は、明治30年頃に築造され、昭和44～45年度、平成8～10年度に県営ため池等整備事業により、堤体補強工事、取水施設、洪水吐の改修が行われている。堤体及び底樋から基準を上回る漏水が確認され、用水量の安定確保が出来ない状況にある。

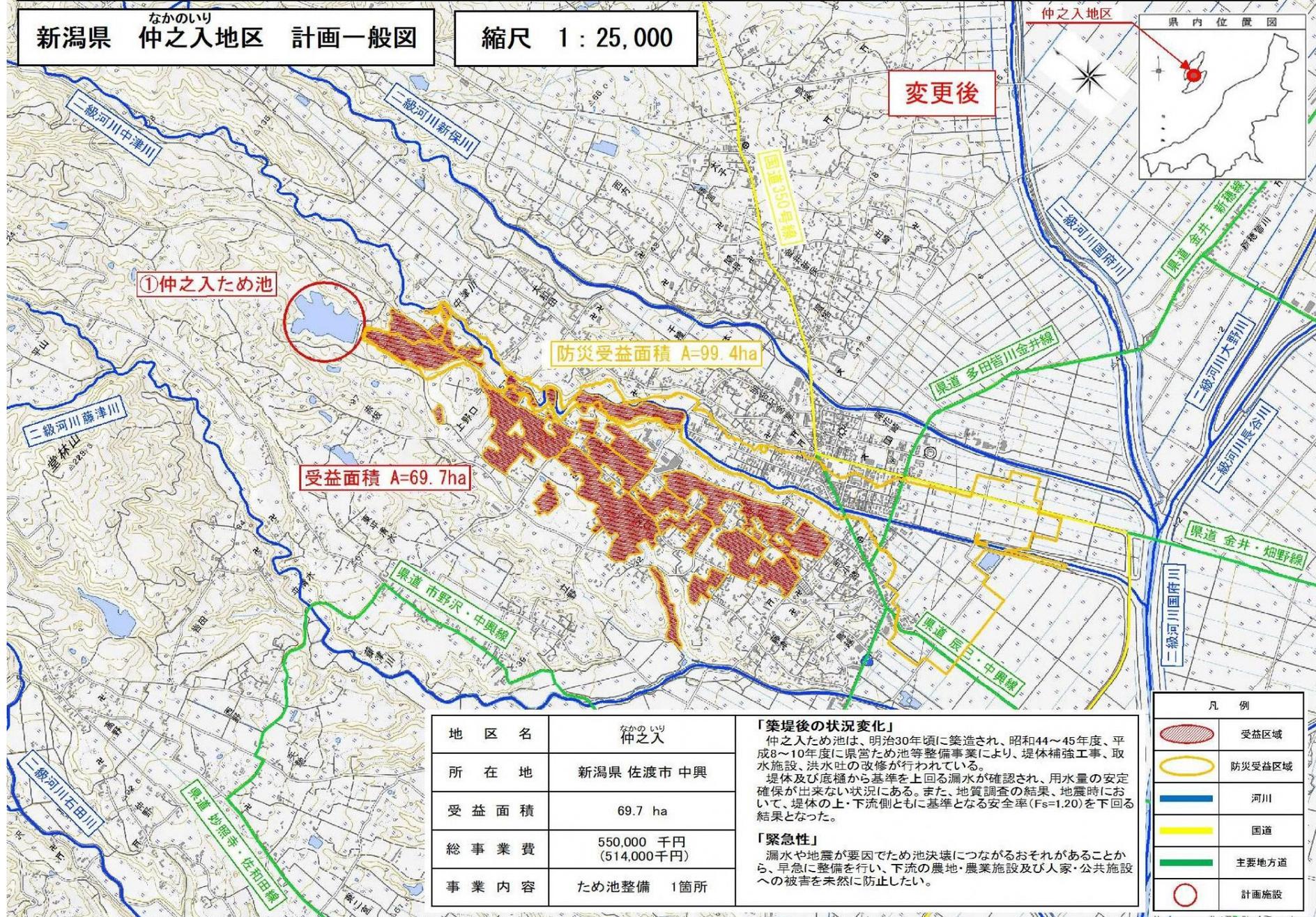
「緊急性」
 漏水が要因でため池決壊につながるおそれがあることから、早急に整備を行い、下流の農地・農業施設及び人家・公共施設への被害を未然に防止したい。

凡 例	
	受益区域
	防災受益区域
	河川
	国道
	主要地方道
	計画施設

平成31年度着工地区 農用地保全施設整備（ため池等整備「一般型」）事業

新潟県 中之入地区 計画一般図

縮尺 1 : 25,000



凡例	
	受益区域
	防災受益区域
	河川
	国道
	主要地方道
	計画施設

地区名	中のいり 仲之入
所在地	新潟県 佐渡市中興
受益面積	69.7 ha
総事業費	550,000 千円 (514,000千円)
事業内容	ため池整備 1箇所

「築後の状況変化」
 仲之入ため池は、明治30年頃に築造され、昭和44～45年度、平成8～10年度に県営ため池等整備事業により、堤体補強工事、取水施設、洪水吐の改修が行われている。
 堤体及び底樋から基準を上回る漏水が確認され、用水量の安定確保が出来ない状況にある。また、地質調査の結果、地震時において、堤体の上・下流側ともに基準となる安全率(Fs=1.20)を下回る結果となった。

「緊急性」
 漏水や地震が要因でため池決壊につながるおそれがあることから、早急に整備を行い、下流の農地・農業施設及び人家・公共施設への被害を未然に防止したい。